

2016 富士チャンピオンレースシリーズ 第3戦 レポート

N1000/ROADSTER CUP NC・ND DEMIO RACE Round 2



富士チャンピオンレース第3戦、最初の決勝となったこのカテゴリー。スタート時にはまだ路面もウェットコンディションだったが雨は落ちてきていない。小雨降る朝の予選でポールポジションを決めたのはNCチャレンジ71 黒蜂☆ED☆ロードスター 登坂 紀 2'24.214。N1000は2 コルサアンジェ 西砂 タイヤ Vitz あおき みのる 2'28.732。デミオでは34 マツダデミオ 常盤 岳史 2'33.716となった。決勝は徐々に路面が乾きそうな気配の中でのスタート。直後から激しいトップ争いが続き、71登坂が最終ラップまで押さえたがラストラップで69 F5ハイ・ロードスター 李政祐が前に出て優勝。レース後、69 李「登坂さんは速いので着いて行きミスするのを待っていました」JNCオープン優勝の8 ド☆ライダー・ロードスター・アクレ 菊池 聡は「予選失敗したので皆でセッティングを考え直したのが上手くいきました」JNDチャレンジ21 おやぢRZロードスター ED 新井 敏克「路面が乾いてきたのでタイムが上がってきた」N1000 393 初音Rもちよ Vitz 前田 貴行「前半で混戦を抜けられたので後半はミスしないように走りきりました」デミオ75 西山 隆「混戦が大変でした。路面が乾いてきたのは自分にとってはラッキーでした」と話していた。



RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	393 前田 貴行
2	83 松本 英之
3	49 菅野 良男
4	2 あおき みのる
5	28 立河 元基
6	27 山崎 じん



RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	75 西山 隆
2	34 常盤 岳史
3	51 戸田 和彦



RESULT リザルト ROADSTER CUP NC Challenge

Rank No.	Name
1	69 李 政祐
2	71 登坂 紀
3	55 石井 鋼一
4	99 北浦 一司
5	70 GERHARD WENZEL RICKERT JR
6	22 中桐 孝治



RESULT リザルト ROADSTER CUP NC Open

Rank No.	Name
1	8 菊池 聡
2	1 高橋 裕史
3	25 橋川 学



RESULT リザルト ROADSTER CUP ND

Rank No.	Name
1	21 新井 敏克
2	3 寺下 皓大

Super FJ Round 3



シーズン折り返しの第3戦を迎えたS-FJ、ここまでのポイントは22 150WM ユニルーパー10V赤堀憲臣と2ガレージ茶畑10VED 上村昌史が35ポイント競っている。ウェット路面、所々霧が降りていた予選でのトップタイムは31 ZAPスタジオコメ10VED 三枝拓己の2'06.432、フロントローには2 上村が並び、決勝時はかなりドライ路面の場所が増えてきた中でのスタートとなり、オープニングラップは31 三枝が抑えたものの2周目には2上村がトップに立つ、予選7番手からスタートの22赤堀もオープニングラップで3位まで追いつき、2周目には2番手に着けるがそこからは激しい2番手争い。上位陣は中盤になってくると3秒差ほどの等間隔になるが、その後の5位争いが4台で最後まで続いた。12週の決勝は2上村が優勝、2位には22赤堀、3位に7 ZAP結婚の学校10VED 佐藤セルゲイビッチという結果となった。レース終了後2上村は「昨日からマシンの調子も良かったし、スタートを上手く決められたので勝つことができました」と話していた。



RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	2 上村 昌史
2	22 赤堀 憲臣
3	7 佐藤 セルゲイビッチ
4	31 三枝 拓己
5	14 飯嶋 郁陽
6	37 小村方 喜章

AE86/MR2/NA1600/SILVIA-180

Round 3



RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	240 山口 崇
2	36 大石 重之
3	41 中村 徹
4	48 深沢 泰司



RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	78 谷田 伸行
2	34 奥田 達矢
3	3 土取 謙太郎
4	25 藤永 雅彦
5	20 木邨 一吉



RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	37 秋元 優範
2	99 竹内 秀伸
3	64 矢島 篤
4	73 小宮 伸介
5	31 高橋 賢一



RESULT リザルト SILVIA-180

Rank No.	Name
1	79 西田 広一郎

FCR-F

Round 2



RESULT リザルト FCR-F

Rank No.	Name
1	27 八巻 渉
2	73 里見 乃亜
3	72 金井 亮忠
4	99 早坂 公希
5	31 大竹 将光
6	77 木村 順

今シーズンは全3戦で行われるFCR-F、今回は第2戦となっている。ハーフウェット路面で行なわれた午前中の予選では27 モレキュールアキランドイーグル 八巻渉が2'00.119でポールポジションを決めた。フロントローには開幕戦優勝の73 チームNATS・エクシズ006 里見乃亜が2'00.166で並ぶ。決勝レースは12周で行われ、スタート直後のTGRコーナーを73 里見がトップで通過。直後に27八巻がトップを奪い返すが、73 里見と3番グリッドからの72 チームNATS・正義FW97 金井亮忠とのトップ争いが続いた。レース中盤には73里見と72金井の2番手争いの隙に27八巻が引き離しにかかりポルトゥウィンを決めた。レース終了後27八巻は「ニュータイヤで出て行ったので、前半は皮剥きしながら走っていました。後ろから来られると思ったけど、マシンの調子が良くなってきたのでミスをしたくないように走って逃げ切れました」とコメント

AE111/N1400 Round 2



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	98 三浦 勝
2	91 船木 周一
3	11 白井 利明
4	18 塩岡 雅敏
5	32 松川 智泰
6	76 石井 京子



RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	0 戸数 直人
2	21 大竹 直
3	31 内田 恒雄
4	3 山田 大輔
5	222 小野田 篤士
6	72 高橋 ノボル

86&BRZ/8Beat Round 2



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	47 落合 立成
2	53 平良 浩幸
3	3 里山 勉
4	222 松下 浩平
5	54 野田 宗男
6	35 土本 忍



RESULT リザルト 8Beat JP-2R

Rank No.	Name
1	55 たしろ じゅん
2	99 古田 聡



RESULT リザルト 8Beat JP-2S

Rank No.	Name
1	12 ウズラ
2	49 清 充秀
3	08 AKKY
4	14 石井 尚顕
5	05 稲田 昌文
6	07 伊藤 毅



RESULT リザルト 8Beat JP-3S

Rank No.	Name
1	1 木幡 修一郎
2	13 市川 忠康
3	88 佐藤 真子

こちら第2戦となる86&BRZ/8Beat、日曜午前中ドライ路面で行なわれた予選では8BeatJP-2Rの55 AUTOFACTORY86 たしろじゅんがコースレコードを塗り替える2'01.869でトップタイム。JP-2クラスは12 ウズラレーシング86 ウズラ、JP-3Sクラスは1 アイブローズ芝ライBRZ 木幡修一郎、86&BRZは53 86Racer's平良号平良浩幸が2'05.627で総合5番手のタイムでクラストップからのスタートとなった。決勝は今回最後のレースとなり、暑かった日中から少し気温も下がってきた16:40スタート。スタート直後からトップ2台のJP-2Rは周回ごとに後続のマシンを引き離してゆくが、その後ろではクラス入り乱れてのバトルが随所で繰り広げられていた。10周の決勝は55たしろがポールトゥウィンを決めJP-2S、JP-3Sクラスもそれぞれトップのポジションを守りきった。86&BRZはクラス3番手スタートから追いつけた47 I&Rアバンデ86 落合立成が優勝した。

Inter Proto Series

Round 3-4

Gentleman Driver



第3・4戦を迎えたインタープロトシリーズ。ジェントルマンクラスは土曜日に予選・第3戦、日曜日に第4戦というスケジュールになっている。予選でトップタイムを出したのは賞典外だが37 IPF-01山下健太の2'03.194で決勝ではEクラス最後尾からのスタート。8 j-Gear8&air-J内田 優太が2'04.514で続く。CCS-Rは52 AREA86倉敷 CCS-R 末長一範が2'09.415でトップタイム。第3戦決勝では好スタートで1コーナーを押さえた50 BMAX・インタープロト DRAGONがトップの座に立ち、後半では37山下と好バトルを繰り広げて優勝した。CCS-Rは52末長が逃げ切った。50DRAGONは「山下君とのバトルが楽しかった」とコメント日曜日の第4戦では3 INGING MOTORSPORT FLYING RATが優勝した。終了後「エキスパートクラスでは初めての優勝ですが、今回は漁夫の利？だったので競い合って勝てるようにまだまだ練習ですね」と話し、Gクラスで連勝した16 ララバレーザ 渡邊久和は「いやー！楽しかった！クリーンなバトルも出来て勝って嬉しい」とコメント。CCS-R 2連勝の52末長は「昨日より涼しくて少し楽しかった。連勝できて嬉しい」と話している。

Round3

IPS-Expert



RESULT リザルト IPS-E

Rank No.	Name
1	50 DRAGON
2	8 内田 優太
3	3 FLYING RAT

IPS-Gentleman



RESULT リザルト IPS-G

Rank No.	Name
1	16 渡邊 久和
2	4 今中 大介
3	55 佐藤 政宏
4	7 とおる君
5	19 高橋 照夫

CCS-R



RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	52 末長 一範
2	87 正田 亮

Round4

IPS-Expert



RESULT リザルト IPS-E

Rank No.	Name
1	3 FLYING RAT
2	50 DRAGON
3	8 内田 優太

IPS-Gentleman



RESULT リザルト IPS-G

Rank No.	Name
1	16 渡邊 久和
2	4 今中 大介
3	7 とおる君
4	55 佐藤 政宏
5	19 高橋 照夫

CCS-R



RESULT リザルト CCS-R

Rank No.	Name
1	52 末長 一範
2	87 正田 亮

Inter Proto Series
Round 3-4
Professional Driver



トップドライバーが競い合うProクラスは、毎回白熱のレースが繰り広げられている。土曜日に行なわれた予選はまだ小雨が落ちていて路面もウェット状態。その中でトップタイムを出したのは37 IPF-01 中山雄一の2'01.653、フロントローには7 J-Gear7&とおる君 坪井翔が並ぶ。しかし7坪井は日曜日決勝前の同乗走行時にマシントラブルで出走できなくなってしまうというアクシデント。2番グリッドが空いた状態でスタートした第3戦、スタート直後の混戦を抜け、5番手スタートの3 INGING MOTORSPORT 石浦宏明が5周目にはトップに立ち、37中山とコマ差でトップチェッカーを受けた。超接戦となったCCS-Rは3台がほぼ同時にチェッカーで、0.026秒差で87 脇坂薫一が勝った。続いての第4戦では3 石浦、37中山、16ララバルーザ Ronnie Quintarelliが激しいトップ争い、10週のレースは0.311秒差で37中山が制した。CCS-Rは52 新田守男が優勝。レース後37中山は「表彰台は上がっているものの真ん中は久々でとても嬉しい!」と話し、52新田は「第3戦はトップかも! ?と思ったら3位、そのくらい並んでチェッカー。第4戦はタイヤが他の2台より持ったから離せられたのかも?」と話していた。

Round3



RESULT リザルト IPS Pro

Rank No.	Name
1	3 石浦 宏明
2	37 中山 雄一
3	16 Ronnie QUINTARELLI
4	4 安田 裕信
5	55 桧井 保孝
6	19 平手 晃平



RESULT リザルト IPS Pro

Rank No.	Name
1	87 脇坂 薫一
2	51 Nanin INDRA-PAYOONG
3	52 新田 守男

Round4



RESULT リザルト IPS Pro

Rank No.	Name
1	37 中山 雄一
2	3 石浦 宏明
3	16 Ronnie QUINTARELLI
4	50 柳田 真孝
5	4 安田 裕信
6	55 桧井 保孝



RESULT リザルト IPS Pro

Rank No.	Name
1	52 新田 守男
2	51 Nanin INDRA-PAYOONG
3	87 脇坂 薫一